



国立国会図書館 関西館 ライブラリーカフェ

民俗学で探る奈良公園の鹿

- 目の前の当たり前をひもとく方法 -

令和7年3月7日(金) 14:00～16:10

私たちは、奈良公園を訪れると当たり前のように鹿の群れをみることができます。奈良公園の鹿は往古より春日大社の神使として人びとに親しまれる一方、人びとの都市生活に影響を与えてもきました。今回のライブラリーカフェでは、私たちの身の回りのことを考える民俗学の視点から、私たちがこれまで鹿とどのように付き合ってきたのか、これからどのように向き合えばよいのかを考えてみます。

プログラム

- ・ 14:00～15:40 話題提供の部 講師 東城義則さん（佛教大学宗教文化ミュージアム 学芸員）
- ・ 15:50～16:10 情報交換の部 質疑応答、懇談、資料紹介

申込方法

定員：15名（先着順、参加無料）

開催場所：国立国会図書館関西館

申込方法：k-events@ndl.go.jp に参加をご希望の方の「お名前」

「ご連絡先メールアドレス」をお送りください。

申込締切：令和7年3月6日（木）



講師 東城 義則 さん

講師から

私たちは、奈良公園を訪れると当たり前のように鹿の群れをみることができます。この鹿の群れは、種としては日本各地に生息する鹿と同じニホンジカであり、所有者のいない野生動物にあたります。もともと奈良公園の鹿は、往古より神鹿と呼ばれ春日大社の神使として人びとに親しまれてきました。その一方で、都市公園とその周辺に生息することから、シカの群れは人びとの都市生活に影響を与えてもきました。

今回のライブラリーカフェでは、奈良公園の鹿にまつわる歴史資料や絵画資料、写真資料、文献資料、各種報告書、雑誌、写真集などを紹介します。そのうえで私たちの身の回りのことを考える民俗学の視点から、私たちがこれまで鹿とどのように付き合ってきたのか、そしてこれからどのように向き合えばよいのかを考えてみます。

講師プロフィール

総合研究大学院大学文化科学研究科単位取得退学後、一般財団法人奈良の鹿愛護会職員、立命館大学OIC総合研究機構の客員研究員などを経て、現在は佛教大学宗教文化ミュージアム学芸員。共著に『動物たちの日本近代：ひとびとはその死と痛みにかに向きあってきたのか』（ナカニシヤ出版、2023）、『現代民俗学入門：身近な風習の秘密を解き明かす』（創元社、2024）、『奈良公園の案内書～極(きわみ)～』（角川アスキー総合研究所、2024）など。



“次に開く一冊”に出会う

関西館ライブラリーカフェとは？

「関西館ライブラリーカフェ」は、特定のテーマについて話題提供者からのお話を聞き、自由な雰囲気懇談するとともに、テーマに関連する資料を紹介する催しです。「関西館ライブラリーカフェ」を含む関西館の各種イベントや資料展示の情報は、国立国会図書館ウェブサイトの関西館のページ内(右QRコード)で随時発信しています。



特定のテーマについて専門家が話題提供



話題提供者(専門家)と参加者が、自由な雰囲気懇談



関西館の蔵書からテーマに関連する資料を紹介